

山形県公立小中学校事務職員研究協議会
研究部・企画研修部・情報部 合同企画

募集期間

7月▶11月

令和4年度

学校事務の実践募集

日々の仕事の工夫や実践を、ぜひ紹介していただけますか？
また、地区としての取り組みも、県内で共有したいです。
お互いに学び合い、日々の仕事をアップデートしましょう！



どんな取り組みでもけっこうです。

自薦・他薦は問いません。

お気軽にご応募ください！

学校教育目標の達成をめざして



◇応募方法

お名前、所属、実践の内容を下記アドレス宛にメールでお送りください。
(HPに応募の様式があります。)

◇宛先

実践募集専用アドレス jissen@yjimu.jp

◇お問い合わせ

- ・研究部長 鈴木 善文 (yoshifumi-s@yjimu.jp)
(鶴岡市立湯野浜小学校)
- ・企画研修部長 矢野 由紀 (yuki-y@yjimu.jp)
(山形市立みはらしの丘小学校)
- ・情報部長 柴田 由香 (yuka-s@yjimu.jp)
(東根市立大森小学校)

お近くの研究部員に、
お問い合わせや実践の
提出をしてくださっても
OKです。



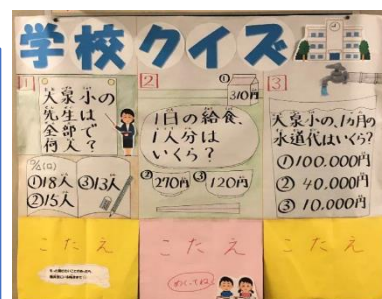
昨年度募集した実践の内容と感想を一部紹介します

※ たくさんの実践が、協議会HPに掲載されています。ご覧いただき、ぜひ取り組んでみてください。

田川地区 主事（オススメ経験ステージ：第Ⅰ 1～3年目）

「学校クイズの作成 ～事務職員 ver.～」

お金に関するクイズなどを作成し、掲示スペースに設置。
事務職員ならではの視点で、子どもとかかわりを持つことができた。無理なく続けられるペースで更新している。



子どもの学びとリンクしている実践を若手から実践していて、すごいと感じました。クイズ制作を通して光熱水費や給食費など学校運営に係る諸経費がどのくらいかかるか、振返ることもできたのではないかと思います。ステキな実践でした！

村山地区 主事（オススメ経験ステージ：第Ⅰ・第Ⅱ 1～10年目）

「お待たせしない窓口チャームをつくろう！

～プログラミング学習を学ぶ子どもとともに～

来客者を待たせないようにするためのチャームを、プログラミングを学んでいる子どもたちと工夫を重ねながら一緒に作製した。



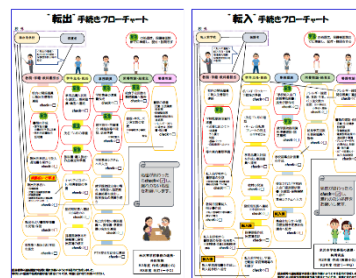
自分であれば、(予算があれば)すぐに購入してしまうところですが、それを子ども達と一緒に考え、楽しく課題解決に繋がったという点が素敵だなと感じました。

また、プログラミングという現代の技術を活かしたことは、革新的かつ今風の取組で、面白いなと思いました。

米沢市学校事務の連携・共同実施（オススメ経験ステージ：全て）

「児童生徒の転出入手続きフローチャート」

児童生徒の転出、転入に係る事務処理の流れを、「フローチャート」により図式化。担当者間の連絡調整や処理の漏れを防ぐ。



所属する学校は小規模の学校ですが、様々な手続きをとる必要がありました。事務職員の業務だけでなく学校全体の動きがわかるので、勤務校に合わせて作成したいと思います。

みんなで実践を共有し、ステップアップしていきましょう！